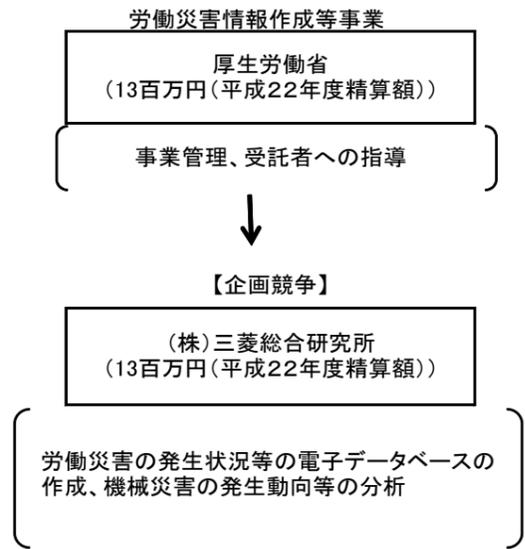


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	労働災害情報作成等事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	安全課		田中 正晴		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	安全・安心な職場づくりを推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項		関係する計画、通知等	新成長戦略:「2020年までに労働災害を3割削減」 第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働災害の発生状況等の電子データベースの作成を行うとともに、機械災害について、災害発生動向等の専門的な分析等を行うことにより、労働災害防止対策の充実を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	労働者死傷病報告及び災害調査復命書の紙媒体の写をもとに災害ごとの電子データベースを作成するとともに、機械災害に関して、機械の種類別、事故の型別等の災害動向や災害発生状況及び原因などの観点から分析を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	16	16	13			
		補正予算						
		繰越し等						
	計	16	16	13				
	執行額	10	10	13				
執行率(%)	62.5%	62.5%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	本事業は調査・検討事業であるため、数値化されたアウトカムは設定していないが、本事業の成果は機械に関する省令や構造規格等の改正の検討に活用している。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	機械災害分析件数 (平成20及び21年度;食品機械、平成22年度; ロール機、混合機、粉碎機)		活動実績 (当初見込み)	件	1746 (1746)	1512 (1512)	935 (935)	- (-)
単位当たりコスト	本事業は調査・検討事業であるため、受益者当たりのコストは算出できない。		算出根拠	本事業は調査・検討事業であるため、数値化されたアウトカムは設定していないが、本事業の成果は機械に関する省令や構造規格等の改正の検討に活用している。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業実施に高度な専門性を要し、事業内容に関して、応募者において価格競争のための入札価格の見積もりを行えるに足る具体的なものを提示することが困難であることから企画競争による調達を行ったもの。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>点検結果は、事業は適切に運用されていると評価できる。 労働災害発生状況やその結果の国民への公開を効率化する観点から、当事業は平成22年度で廃止し、平成23年度は「災害事例の労働災害防止活動への活用等促進事業」に集約した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	-		-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	データ入力作業員経費	8.0			
人件費	研究員人件費	4.4			
管理費	光熱水料、消耗品費	0.6			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	事業概要のとおり	13		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					